

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会

公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会

水道コンサルタント協会は、「水(すい)コン協」は、「水(みず)コンサルタント」(水すいコンサルタント)からなる協会です。水コン協は、昭和56年に発足し、今年、40年を迎えます。平成30年に公益社団法人となり、新たなスタートを切っています。

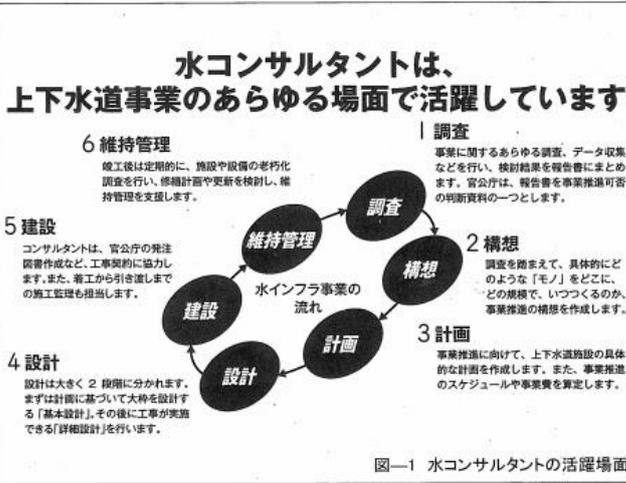


図-1 水コンサルタントの活躍場面

「水コンサルタント」は、「上下水道・水環境に特化した水インフラのプランニング&マネジメントを行う専門技術者集団」です。水コンサルタントの仕事は、「水」という側面から、街の未来の姿を描き、安全で豊かな地域社会を作り、支えています。

水コン協では、令和元年6月、協会ビジョン2015-2025の第二期アクションプランに、「水コンサルタント」の「行動の礎(いしずえ)」として、次の「10の主要行動」をまとめました。「水コンサルタント」は、これを礎に業務展開を図っています。

(1) 水システムを通して地域・都市を豊かに
(2) 地域のニーズに応えるため、業務領域を拡大し、上下水道界のトータルコーディネーターに

(3) 災害時に地域のために素早く対応
(4) 官民連携への適切な支援
(5) デジタル化への先導的対応
(6) 社会的地位・経営基盤の確立、SDGs達成に向けての貢献
(7) 働き方改革等による魅力ある職場の創出
(8) 多様なステークホルダーとの連携強化
(9) 技術面・技術開発面でリーダーシップを

(10) 国際展開への貢献
「水コンサルタント」の特色と魅力をピックアップすると、次の通りです。
▽2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロに向け、グリーン(環境)ビジネスの代表成長産業。業績の伸び、大きい。(図1-2参照)
▽水と環境を守るという強い社会的使命を担う。水は、人間が生きていくうえで必須の最も重要な資源。「水」になる可能性が高い。
▽21世紀は水の世紀、水の争奪戦の世紀といわれている。今後、最も重要な資源は「水」になる可能性がある。
▽一方、上下水道・環境保全の確保のあらゆる場面で活躍し、業務の全体像を俯瞰し、コーディネートする仕事。(図1-1参照)
▽地域・都市の住民に寄り添い、地域の発展に貢献する仕事。

▽コロナ禍において、上下水道インフラの衛生インフラとしての使命が改めて注目された。国民の命を守る仕事。
▽ドローン・ロボティクス・AI・IoT・バイオテクノロジー等の革新的技術が、上下水道分野で次々と創出されており、技術革新面でも注目の分野。
▽世界の発展途上国の上下水道整備は、また緒についたばかりの国も多く、海外展開のポテンシャルは非常に大きい分野。
▽21世紀は水の世紀、水の争奪戦の世紀といわれている。今後、最も重要な資源は「水」になる可能性がある。
▽一方、上下水道・環境保全の確保のあらゆる場面で活躍し、業務の全体像を俯瞰し、コーディネートする仕事。(図1-1参照)
▽地域・都市の住民に寄り添い、地域の発展に貢献する仕事。

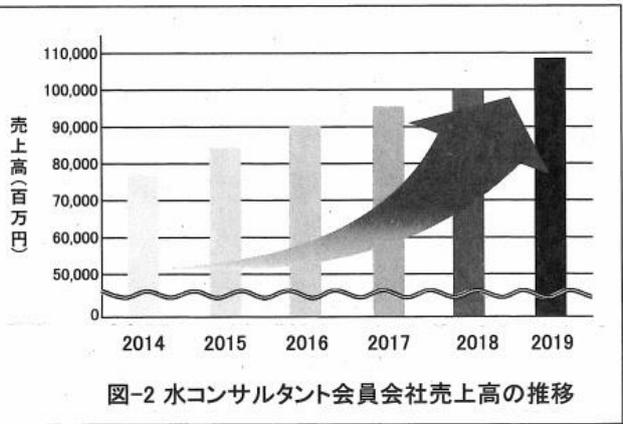


図-2 水コンサルタント会員会社売上高の推移

ました。水コン協は、上下水道技術の向上を図るための調査研究、最新の技術の普及促進や上下水道技術者の育成のための研修・研究発表会の開催、健康・暮らしと良好な水環境を守る国民生活必須の重要なライフラインとして、位置付けられています。水コン協は、今後も、傘下の会員とともに足以来40年、上下水道インフラの整備促進・機能高度化・確かなマネジメントの一翼を担って寄与してまいります。